

部品 用品 整備

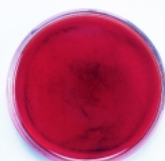
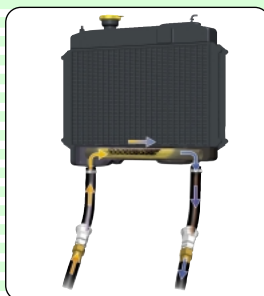
最新動向

テクノレーダー

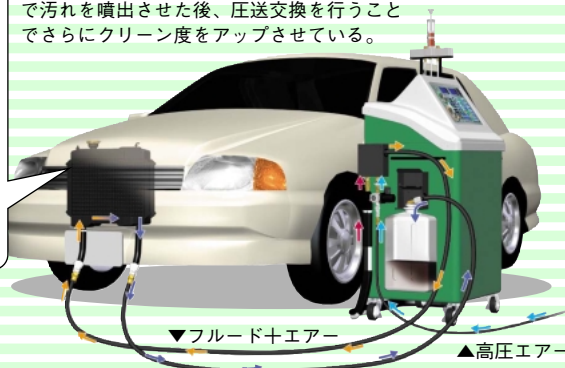
15

オートマチックフルード交換

プロならではのサービス提供を実施して差別化を！



オイルクーラーの管内にエアと新油を注いで汚れを噴出させた後、圧送交換を行うことでさらにクリーン度をアップさせている。



取出した汚れをカーオーナーに見せれば、サービスに対する満足感が一段とアップするだろう

プロらしいサービスとは？

ATF交換の必須機器

近年の機械工具は機能性に優れ、使い勝手も一段と向上しているのは周知のことだろう。特に油脂類の交換作業が能率アップするチェンジャ類は導入効果が高いことで知られ、中でも「オートマチックフルード(ATF)チェンジャ」は、自動変速装置の普及に伴って需要が高まったATF交換の必須機器として、導入する工場が増えてきた。

ATFチェンジャには「循環式」と「圧送式」という2通りの交換方式があり、最新機種のひとつが「全自動モード」を搭載し、どちらの交換方式も限りなく100%に近い水準まで交換率が高められたといわれている。

近年は輸入車を中心に「ATFレベルゲージ」を装備しない車種が増えていることや、カーオーナーに対する視覚的アピール度が高いことなどを理由に圧送式による作業を行う傾向にあるようだ。

ATF交換サービスは、ディーラーや整備業者以外にもガソリンスタンド、カー用品店、タイヤショップなど多くの業態がメニュー化している。どの業態もサービス内容に大きな違いはなく、それゆえにカーオーナーは「サービス料金」に関心を示すのが現状といえよう。

もし作業品質の高さを通じてカーオーナーに満足感を提供することができれば、他店を一步リードすることも不可能ではない。たとえば「エンジン内部洗浄」と同じように、ATF交換時にフルード経路を洗浄できれば、カーオーナーにプラスアルファの満足感を提供できそうだ。

あるATFチェンジャは「ATクーラー」の内部を洗浄する機能を搭載しており、上記のとおりエア圧を利用してクーラータンク内に堆積したスラッジを噴出させ、それを専用タンクに取込める仕組みになっている。それを見せながら説明すれば、プロならではのサービス品質の高さにカーオーナーが満足するのは容易に想像できよう。